

(別紙5)

整理番号 2018P-078  
補助事業名 平成30年度 検診車の整備 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人三重県健康管理事業センター

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

#### ア. 社会的課題

我国における子宮頸がん罹患者は約30千人、その死亡者数は6千人であり死因では12番目に多い。三重県においても子宮頸がん罹患者数は1千人で、死亡者数80人となっている。こうした中、このがんに対する国の方針は対策型検診の受診率向上を掲げ、全国では受診率は32%であるが、三重県では無料券施策等が功を奏し、54.2%である。この受診率を維持しさらに高めていくには、子宮頸がん検診車を新たに整備し受診者向けの利便性を向上させるとともに、市町等とともに受診向上に向けての更なる積極的な展開を図る必要がある。

#### イ. 目指す姿

子宮頸がんの原因としてヒトパピローマウイルスについては、国もワクチン接種やヒトパピローマウイルスの検査を実施してきているが、受診者への教育が十分になされておらず、子宮頸がんの受診率も横ばい状態になっている。このため子宮頸がん検診車を新たに整備することにより、「子宮頸がんの知識が三重県民に普及し、県民が正しい受診行動が取れ、更なる受診率の向上、罹患率、死亡率の低下につながる。」ことを目指す姿とする。

#### ウ. 事業の目的

疾患や自覚症状の無い健康な若年層に対して、新たな子宮頸がん検診車を整備することにより居住地に近い公的な施設や職場で気軽に受診できる機会を増やすこととしたい。また、南北に細長い地理的特徴を持つ三重県では婦人科医療機関のない地域（南勢地区）が多く、受診率も低い状態であることから、受診の機会を確保するため、新たな子宮頸がん検診車を整備することにより、地域に出向いて検診を実施することで市町の検診受診者の裾野を拡げることとしたい。

(別紙5)

(2) 実施内容

子宮頸がん検診車 (<https://www.kenkomie.or.jp/>)



車両側面



車両後部



天井の排気ガスの出口

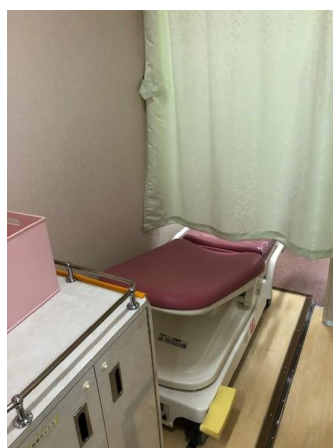
(別紙5)



待合室からみた扉  
(使用時は使用中ランプが点灯)



診察室の診察台 2台  
(中央は壁で仕切られて個室)



受診者からみた診察室内の診察台

車体を全長9m未満にすることで狭い検診現場にも対応でき、現場において排気ガスを天井に逃がす仕様になっている。また、受診者(女性)に好印象を与える温かいイメージの内装で、特にプライバシー保護に重点を置き、受診者が安心して受診できる検診を目指しています。

## 2 予想される事業実施効果

当該事業の受益者は、三重県内に住む女性であり、三重県内の事業所の女性である。特に乳がんへ人々の関心は非常に高まっており、「婦人がん検診」として、乳がん検診と子宮頸がん検診を併せて検診計画を立てる市町や事業所が従来より多くなってきている。このため子宮頸がん車の稼働日数も増え、医療機関受診習慣の少ない若年受診者層や婦人科医無医地区への受診機会の増加が予測される。

(別紙5)

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人三重県健康管理事業センター

(コウエキザイダンホウジンミエケンケンコウカンリジギョウセンター)

住 所： 〒514-0062

三重県津市観音寺町字東浦446-30

代 表 者： 理事長 水谷仁 (ミズタニヒトシ)

担 当 部 署： 総務部総務課 (ソウムブソウムカ)

担 当 者 名： 次長 田中 桂子 (タナカ ケイコ)

電 話 番 号： 059-228-4502

F A X： 059-223-1611

E - m a i l： [info@kenkomie.or.jp](mailto:info@kenkomie.or.jp)

U R L： <https://www.kenkomie.or.jp/>